

平和資料室とモニュメントを検討

まず鈴鹿市、NTT, 市民の会 3者で協議、格納庫の再構築は断念

鈴鹿市の誕生の証しとして、私たちが保存運動を進めてきたNTT西日本研修センタ跡地の旧海軍格納庫はこの春、再開発のため、すべて撤去されました。市民の会とNTTとの合意書に基づき、3棟あったうち1棟(第4格納庫)は再建できるよういねいに解体され、現地に部材が保管されています。この再構築を模索してきたのですが、①それには数億円の巨額な費用がかかる、②活用まで考えた再建をする場合、建築許可そのものが下りない恐れがある、③仮に下りたとしても東日本大震災により自力の資金集めがきわめて困難になった、ことなどから再構築をあきらめざるをえなくなりました。

このままでは、保存を求めて集まった1万2千人もの署名の意味がなくなる。寄せられた思いを生かすことができないかと、戦時関連資料の収集・保存・展示ができる平和資料室の設立をめざすことにしました。もともと、平和教育の生きた教材として格納庫の保存を求めてきたものであり、平和資料室という形でそういう場をつくることができれば、と考えたのです。

これまで再構築に否定的だった鈴鹿市は、この方針転換を前向きに受け止めてくれ、市民の会とNTTの合意書にある部材活用を検討する協議体の取りまとめ役をしてくれることになりました。まずは3者で協議体をスタートさせることになり、10月31日、初の話し合いをしました。

問題は平和資料室の設置場所です。私たちは大黒屋光太夫記念館ができる前、若松小学校の空き教室を資料室に使っていた例にならって空き教室でも使えないか、と考えていました。これに対し、市側から、NTTから買収して白子キャンパスにした鈴鹿医療科学大学の施設を使わせてもらう可能性があるかもしれないと言われました。旧海軍航空隊の跡地で格納庫のあった所と隣接して立地している大学であり、実現すれば願ってもないふさわしい場所です。鈴鹿市の仲立ちで、同大学の高木純一理事長にお会いしました。私たちのこれまでの取り組みや思いを話したところ、「地域に開かれた大学をめざしており、協力できることはしたい」と前向きの返答をいただきました。

これから、どこに、どんなものをつくるか、そのためにどれ位の費用がかかるか、その資金をどうねん出するか、設立後の管理運営をどうするか、などを検討し、まとめることになります。また、資料室とは別に、象徴的な部材でモニュメントを建てる検討もしています。

部材保存の期限が同意書で12月末とされており、年内をめどに計画の輪郭を描く予定です。来年は市制70周年。未来につながる大きな記念碑を共同でつくることができたらと願っています。



在りし日の格納庫群

11月23日に神戸コミセンで臨時総会を開きます

格納庫の再構築を断念した方針転換を諮る市民の会の臨時総会を11月23日(水、勤労感謝の日)午後1時半から、鈴鹿市神戸9丁目の神戸コミュニティーセンター(電話059-383-1332)で開きます。事後承諾の形になりますが、しっかり議論していただけたらと思います。ぜひご出席ください。



臨時総会

日時 ; 11月23日(水) 13:30~
場所 神戸コミュニティーセンター

市民の会は9月29日付で以下のような要望書を鈴鹿市に出しました。

鈴鹿市長・末松則子様

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会(共同代表 加藤二三子・竹内宏行)

私たち「市民の会」は鈴鹿市誕生の証しとして旧海軍格納庫の保存を各方面に訴えて参りました。その結果、NTTのご好意により、3棟あったうちの一つ、第4格納庫は解体されたものの部材保存されており、その再構築をめざしてきました。しかし、それには巨額な費用がかかること、東日本大震災の発生で自力の基金集めがきわめて困難になったこと、活用可能な再建をする場合、建築許可がおりない恐れもあることなどから、残念ながら再構築を断念せざるをえなくなりました。

しかしながら、これまでの運動の高まりや成果を生かしていくためにも、①戦争関係資料の収集・保存・展示をして平和教育の拠点とする平和資料館(平和ミュージアム)の設立をめざす、②保存されている部材は、極力モニュメントの形や展示資料として活かす、ことが大切であると考えました。

これを実現するためには、鈴鹿市のお力が欠かせません。関係者の取りまとめ役になっていただくよう切にお願いする次第です。NTTとの合意書では部材の活用について協議体をつくることにしており、鈴鹿市の参加が前提であることは暗黙の了解事項でした。

この運動を通して、多くの市民の方々に軍都として誕生し、戦後の発展の礎となった「鈴鹿市の原点」を理解していただきました。幸いにして、来年は市制70周年という節目の年であり、軍都から工都への発展の歴史を後世に伝えていくべく、平和資料館(平和ミュージアム)設立への機運が高まっていくことを期待しております。

なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

格納庫の写真展と「平和を考える集い」 「麦わら帽子の会」が朗読劇「鈴鹿、その時」 白子公民館で開く

8月15日の敗戦忌にちなみ、同日から21日まで1週間、鈴鹿市江島本町の白子公民館で、今春に解体された旧海軍鈴鹿航空基地格納庫の写真展を催しました。最終日の21日は「平和を考える集い」を開き、「鈴鹿麦わら帽子の会」が朗読劇「鈴鹿、その時」を公演。続いて、格納庫再構築が困難な状況となった報告をして今後の取り組みを話し合いました。

「鈴鹿、その時」は会員たちが手分けして市民の戦争体験を聞き取りし、それを朗読劇に構成しました。証言のほとんどが銃後を守った女性たちです。

「結婚後、半年で夫は召集を受け、いったんは帰ったものの、3年後に再び召集され、3人の子どもの残して沖縄戦で戦死した」(26歳)。「爆撃から身を守るため、蓑笠に草をつけて田植えした」(22歳)。「兵隊さんがよく手紙を書きに来たので、そのつど食べ物を出した。東大生だった。あるとき『おばさん、これでお別れです』。しばらくして家の方が戦死の報告に来られた」(32歳)。軍都鈴鹿の誕生の歴史と4回の空襲の記録のナレーションも入りました。15人の生々しい証言は「こんなええ時代に老年期を迎えた。しかし、だれかが伝えていかないと何かこわい気がする」(20歳)と結ばれました。(カッコ内は証言者の当時の年齢)。

第2部は「これまでの取り組みとこれから」と題し、竹内宏行代表が取り壊しにつながる市議会の可決にめげず、部材保存までこぎつけた経緯を説明しました。しかし、再構築はきわめて困難であり、平和資料館のような形で思いを生かす道を模索していると報告しました。

「全国から資金を集め、再構築させられないか」「市民にもっと働きかけたら」「平和資料館の中で部材を生かすのはよい考え」などの意見が出されました。司会をした中森成行・前市考古博物館長は「長年、埋蔵文化財の発掘に取り組んできたが、記録保存という形で壊されるのが常。今回のように市民と組んで守ろうとしたことは画期的だ」と話しました。



市役所市民ギャラリーで初の写真・パネル展

鈴鹿市役所1階の市民ギャラリーを初めて会場にして、9月12日から18日まで戦争遺跡の写真・パネル展を開催しました。3月末をもって解体された格納庫3棟を中心に写真と地図など約50点のパネルを展示しました。

大きく拡大した現在のNTT跡地の航空写真と戦後間もないころの航空写真を比較して展示しましたが、鈴鹿市の発展のすごさとともに、その影に隠れ、よくも60余年間も格納庫が残っていたものだと痛感しました。市民や市の職員など大勢の方にご覧いただくことができ、非常に有意義な展示会であったと思いました。



鈴鹿ハンター「風の街の文化祭」でも展示会

鈴鹿ハンターで10月23日開かれた恒例の「風の街の文化祭」に参加して、格納庫、海軍工廠と気象連隊など陸軍関係の戦争遺跡の写真・パネル約30点を展示しました。いまりサイクル会社の敷地内にある機銃の試射場の巨大構造物は訪れた人の関心を引き、当時を知る高齢の夫婦は「当初は円形のドーム状の完全な形で残っていたが、厚い鉄筋コンクリートの中の鉄を取られて天井がなくなってしまった」と貴重な証言をしていました。

市制69周年記念 **鈴鹿市のあゆみ～軍都から平和都市へ～** **講演と戦争遺跡の写真・パネル展**

- ◇場 所 鈴鹿市清和公民館(清和小学校西隣)
◇展示期間 12月1日(木)～14日(水) 土日は原則閉館です
◇講 演 12月10日(土)午前10時～11時30分
講師;浅尾悟さん(白鳥中学校教諭・市民の会)
演題;地域の方々と語る鈴鹿市の戦争遺跡

12月1日の市制記念日と前後して毎年、図書館等で開催してきました戦争遺跡の写真・パネル展を今年から、各地区の公民館や集会所等を巡回して開催することにしました。第1回目は清和公民館のご協力により開きます。各地域に埋もれている戦争遺跡や貴重な体験話などを掘り起し、記録に留めることも巡回展の大切な目的の一つです。旧鈴鹿海軍工廠にまつわる詳しい講演と併せて、地域の方々からさまざまなお話が伺えることを楽しみにしています。(駐車場は狭いことから、お近くの方は徒歩、自転車でお越しください)

鈴鹿で戦争遺跡保存全国シンポジウム

- ★大会名 第16回戦争遺跡保存全国シンポジウム三重県鈴鹿大会
★日 時 2012年8月18日(土)～20日(月)
18日は全体会、19日は分科会、20日は戦争遺跡見学会
★会 場 鈴鹿市文化会館 けやきホールと研修室

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会

代 表 加藤二三子、竹内宏行
〒510-0254 鈴鹿市寺家1-2-47
電 話 059-388-6508
メール ta818hi@mecha.ne.jp

H P <http://www006.upp.so-net.ne.jp/asao/peacesuzuka.htm>